





Miyoshi district hazard map



はじめに

「三好市防災ハザードマップ」は、三好市内における水害や土砂災害、地震 など起こりうる災害を知り、もし、災害が起きた場合には、危険な場所を 避け、すみやかに避難を行い、災害による被害を可能なかぎり軽減してい ただくことを目的に作成しています。

もくじ

■ 災害	がおこるしくみ	
	土砂災害	1P
	洪水災害	2P
	地震災害	—— 4P
BASSS	マップ	
	図郭劃図 ———————————————————————————————————	6P
	土砂災害マップ	8P
	土砂災害營補区域。土砂災署特別管戒区域、土砂災害危険協所	
	地震災害マップ	34P
	高度予測分布図・液状化分布器	
■ 災害	に備える	
	風水害・地震に備えて	36P
	原水害/地震に備えて・孤立や俳楽に備えて・非常持ち出し品	
	災害情報の入手	38P
	河川の水位情報と刊新基準・災害時に役立つ情報の入手先	
■ 災害	から身を守る	
	いつ・どこへ避難するの?	39P
	避難する時の注意点 ――――――	40P
	避難生活の心得	41P
■ 知っ	ておこう!	
	緊急連絡先と伝言ダイヤル	42P
見て	おこう!	
100.50	避難場所等一覧	43P
	協定緊急避難場所·指定避難所·一時避難場所。広延避難所	750
■ 今や	Z > 1	
7.15		440
	(土砂災害) 我が家のマイ・タイムライン作成ガイド	— 44P
	ローリングストックと防災メモ	46P
	ローリングストック注を活用・むが家の前災メモ 地図凡例 / マイ・タイムライン	― 折り込み
	7000/100/131 214212	1/1 / 1/107



災害がおこるしくみ 土砂災害



1時間に50ミリを超える強い雨が降り始めると、土石流などの大規模な災害が発生する可能性があります。

また、長雨や豪雨のほか、地震が発生した場合にも、土砂災害に注意してください。 以下のような箇所や区域に指定されているところでは、十分に注意し、早めに避難してください。

土砂災害危険箇所

急傾斜地崩壞危険箇所

集中豪雨や長雨などにより料 面が突然崩れるおそれのある 箇所

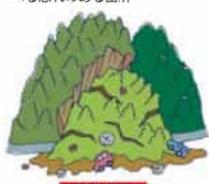


新兆現象

- 地鳴りの音が聞こえだした
- がけに亀製が発生したり、小石が落下してきた

地すべり危険箇所

斜面が地下水等の影響により、 広範囲で、ゆっくりと地面がす べる恐れのある箇所



前兆現象

- ●地面のひび割れ
- 申井戸水がにごったり、水量 が急に変化した
- ●料面から水が吹き出した

土石流危険箇所

各や製造にたまった土砂が集中 豪雨による水といっしょに、一 気に流れ出る恐れのある渓流



前兆現集

- ●山鳴りがしだした
- ●雨が降っているのに川の水位が 下がった
- ●川がにごり、流木が流れ出した

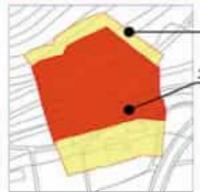
土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危 害が生じるおそれのある区域です。

土砂災害特別警戒区域

建物に損職が生じ、住民の生命又は身体に著しい危 害が生じるおそれのある区域です。



土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

※土砂災害(特別)警戒区域は「土砂災害防止法」に 基づき徳島県知事が指定した区域です。

「三好市防災ハザードマップ」では、土砂災害への警戒が必要な区域を事前に知っていただくため、県による調査の後、指定される前(告示前)の区域も含まれています。

また、発生する要因(急傾斜地崩壊、土石流、地すべり)の違いがわかるよう区別しています。

詳しくはマップ凡例をご覧ください。

CHECKI

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大 雨のときには警戒避難が必要となる可能性 がありますので、注意してください。

また、土砂災害警戒区域以外でも土砂災害 の発生する可能性がありますので、自分の 住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場 所などをよく確認しておきましょう。



災害がおこるしくみ 洪水災害

川の水が堤防などの外へとあふれ出る水害の氾濫 (はんらん)には、外水氾濫と内水氾濫の2種類が あります。

外水氾濫とは

外水氾濫とは、河川そのものの水位が上昇して起こる水害のことです。

大量の水が速い速度で平野部に流れ込み、わずかな時間で住宅などの浸水や人的被害が発生する 可能性があります。また、流れ込んでくる水は泥水で、洪水がおさまった後も土砂や汚泥が堆積す るため、復旧に時間がかかります。









大雨によって川の水 堤防いっぱいまで水 水が増え、水の力に り始めます。

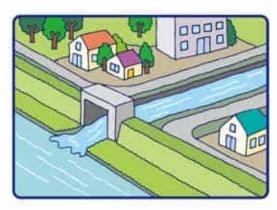
が増え、水かさが上が が増えると、堤防に水 の圧力がかかり始め なり、堤防の一部が ます。

堤防が耐えられなく 崩れ始めます。

崩れた場所は一気に 拡がり、勢いよく水が 流れ出し、家などに襲 いかかります。

内水氾濫とは

内水氾濫とは、平野部や山側に降った雨が、普段は吉野川へ排水されるのに、大雨でポンプなどの 排水施設の能力が水量に追い付かなかったり、吉野川の水位が上昇して排水できなかったりする と、水はけが悪くなって建物や土地、道路などが水につかってしまうことをいいます。特に、最近は ゲリラ豪雨のような局地的な豪雨が頻発し、内水氾濫による被害が増えています。





街などに降った雨は、中小河川など支流 を通って大きな川に排水されます。



大雨が降ると大きな川の水位が上がり、 支流からの水が排水されにくくなり、水 があふれてしまいます。

三好市で想定される降雨と吉野川の氾濫

洪水の範囲(浸水想定区域)や浸水深の算定には、以下のような雨が降った場合を想定してつくら れています。

降雨	総雨量	おおまかな降雨確率			
想定最大規模 の降雨	吉野川岩津上流域の 48 時間の総雨量 765mm	おおむね1000年に1度を超える確率で降る雨 (今まで降った雨の観測データから、計算上 考えられる、最大規模の雨)			
吉野川池田上流域の 計画規模の降雨 2 日間の総雨量 490mm		おおむね100年に1度程度の確率で降る雨 (一生のうち、1回は起きるかもしれない雨)			

国土交通省 四国地方整備局 德島河川国道事務所 平成 28 年 6 月公表

浸水想定区域と浸水

大雨や台風で、吉野川の上流で堤防が決壊、または 氾濫した場合に、三好市内に影響する洪水の範囲 (浸水想定区域) や浸水する深さ (浸水深) を想定し たものを示しています。





これらの浸水深については、想定の降雨を超えるような 雨や、内水氾濫が同時に起きる場合などについては考慮 していませんので、想定される洪水の範囲(漫水想定区域)や浸水深が実際と異なる場合もあります。

早期立退き避難区域

家屋倒壞等危険区域(河岸侵食)

洪水により河岸が浸食され、木造家屋等の建物 が倒壊するおそれがある区域を示しています。

家屋倒壊等危険区域(洪水侵食)

堤防が決壊し、激しい氾濫流により、建物等が 倒壊するおそれがある区域を示しています。



このような区域にお住いの方は、早めに、区域外の安全な場所へ立退き避難 しましょう。

平成 16 年 10 月台風 23 号による浸水範囲(戦後最大の洪水)



H16 年台風 23 号内水氾濫箇所

H16 年台風 23 号外水氾濫箇所

吉野川流域で浸水面積 7,645ha、床上浸水 745 戸、床下浸水 1,975 戸の被害がありました。

「吉野川水系河川整備計画(変更)公表資料」 国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所 平成 29 年 12 月公表







三好市内では、南海トラフ巨大地震のほか、中央構造線・活断 層による地震のリスクがあります。

南海トラフによる地震発生のしくみ

南海トラフ巨大地震が発生すると、海側では津波の危険がありますが、内陸部でも、強い揺れ による家屋の倒壊や、土砂くずれなどの土砂災害が発生する可能性があります。 南海トラフ巨大地震は、今後30年間に70%から80%の割合で発生するといわれています。



①海側のプレートが少しずつ ②陸側のプレートの先端部が こみます。



陸側のプレートの下にもぐり 引き込まれることでひずみが 蓄積されます。



③ひずみが限界に達すると 陸側のプレートが跳ね上が り、地震や津波が発生します。

中央構造線・活断層による地震発生のしくみ

陸側のブレートも、たまったひずみが限界に達すると、岩盤の弱い部分で急激なずれが起こりま す。これが断層による地震で、数百年から数十万年の間隔で繰り返し活動しているのが「活断層」 と呼ばれています。

三好市では、讃岐山脈のふもとに沿って、東西に「中央構造線活断層」が形成されています。 徳島県では、これら活断層直上を「特定活断層調査区域」に指定するとともに、位置がやや不明な 活断層については「活断層の調査を推奨する区域」を設定し、土地利用の適正化を図っています。



特定活断層調査区域及び活断層の調査を推奨する区域について

特定活断層調查区域

「特定活断層調査区域」内で「特定施設」(※)の「新築等」を行う場合に、事業者の 方が活断層の調査を行い、「直上」をさけて建築していただくものです。 条例では、調査により活断層の位置を特定し、その直上を避ければ、区域内でも 新築等をすることは可能です。

※特定施設とは

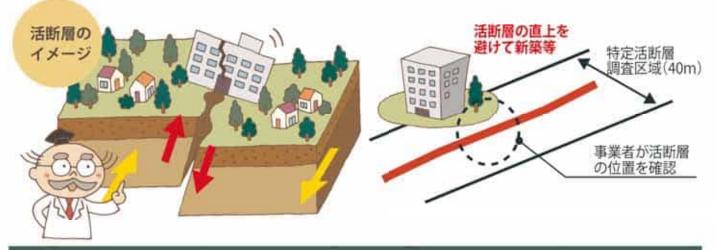
一定規模以上の学校、病院その他「多数の人が利用する建築物」及び一定量以上の火薬類、石油 その他の「危険物を貯蔵する施設」のことです。

活断層の調査を推奨する区域

条例とは別に特定施設の新築等に際し、ボーリング調査等の地盤踏査を行う場合に、あわせて活 断層の調査を行うことをお勧めする区域です。

「特定活断層調査区域」及び「活断層の調査を推奨する区域」は、それぞれ、 40mの幅を設けています。 (下図イメージ参照)

中央構造線活断層帯土地利用の適正化のイメージ



地震による震度と液状化

徳島県の内陸部では、中央構造線・活断層による地震が 発生した場合、南海トラフ巨大地震よりも、大きな震度 となる区域が予測されています。

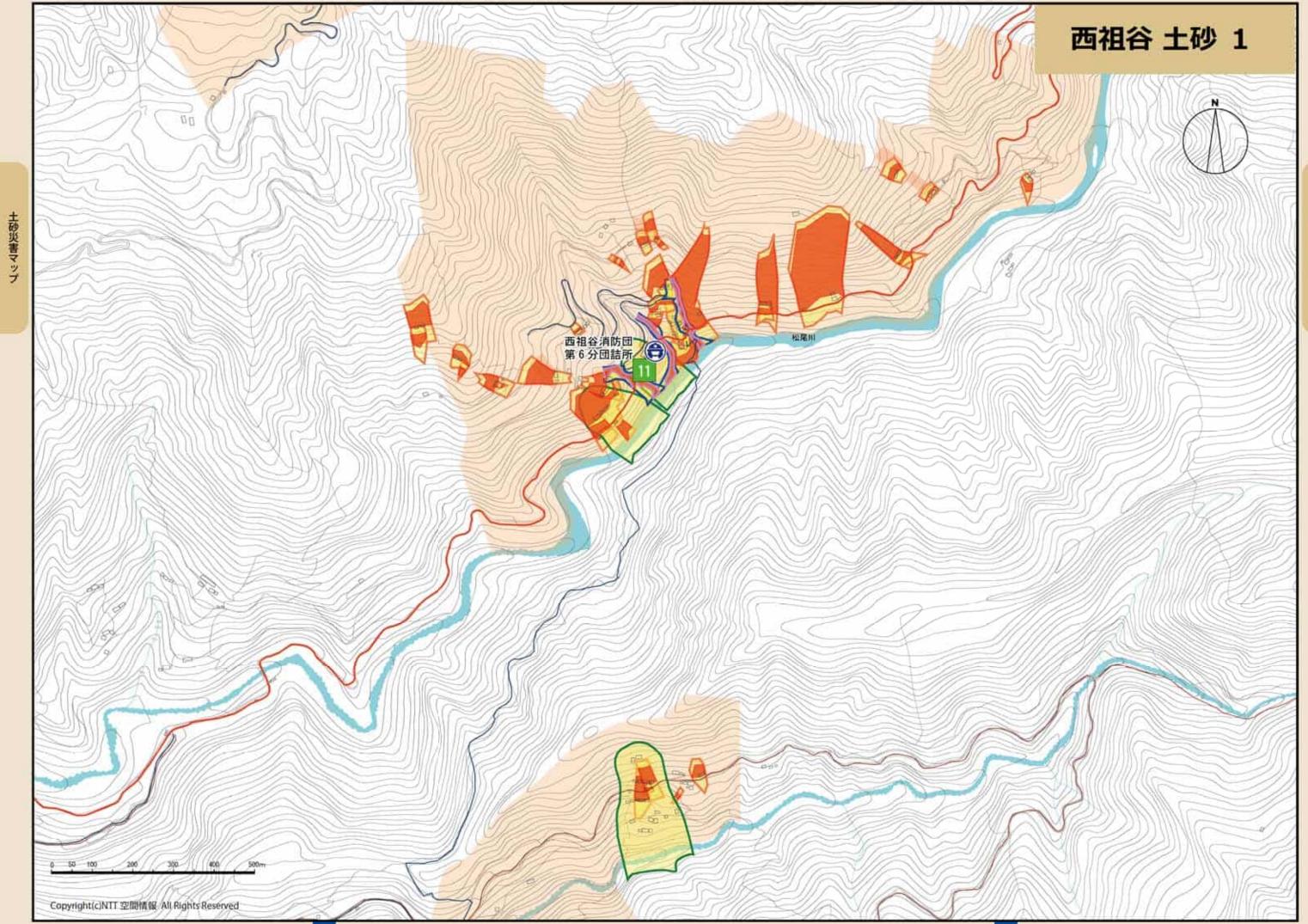
地震が発生すると、軟弱な地盤の地域では、「液状化」が 発生する場合があります。

「液状化」が発生すると、砂まじりの水が吹き上がった り、建物が倒壊する可能性があります。

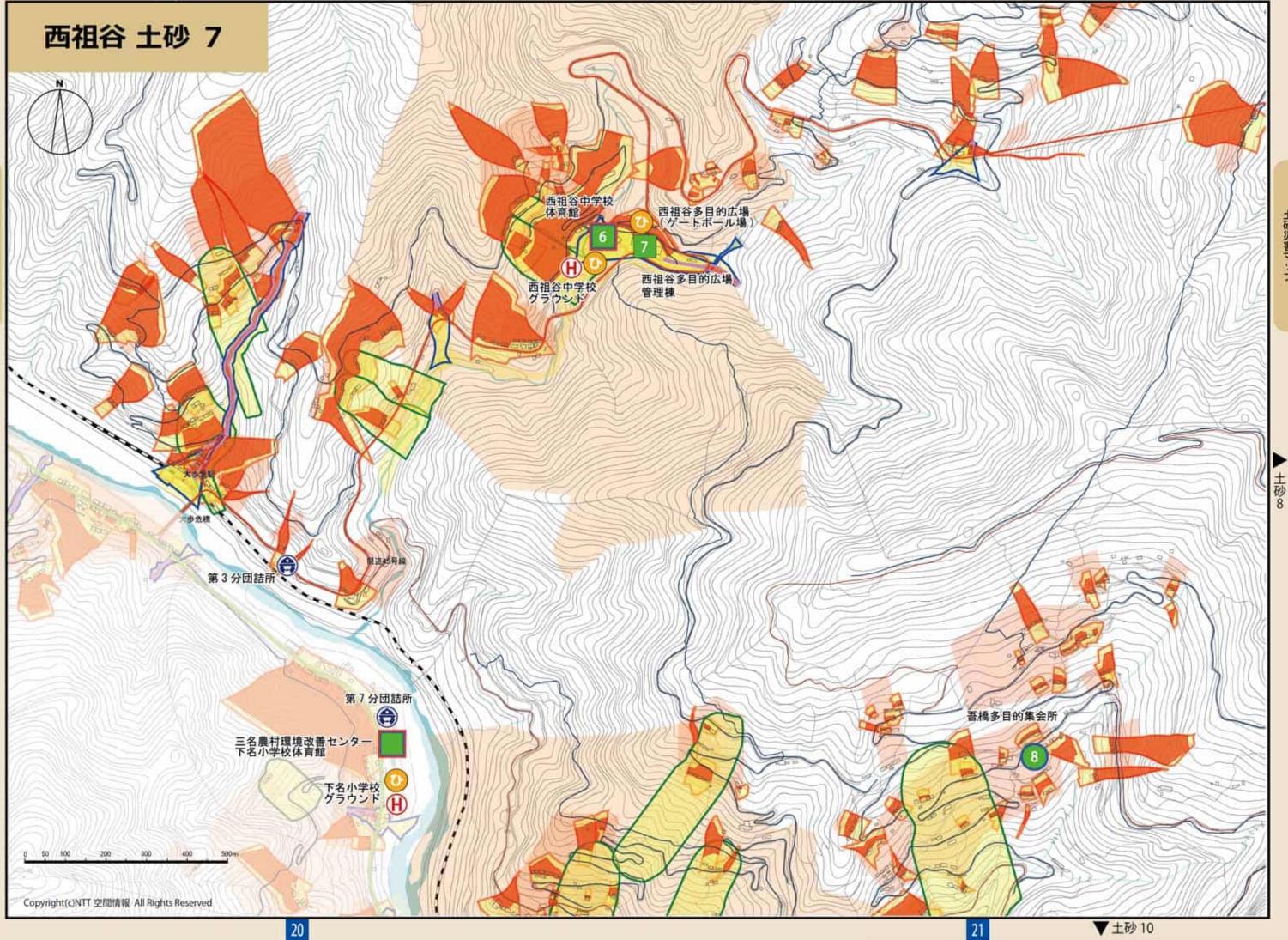
三好市内の吉野川沿岸の平野部は、「液状化」の危険度が 高い地域ですので、十分に注意しましょう。

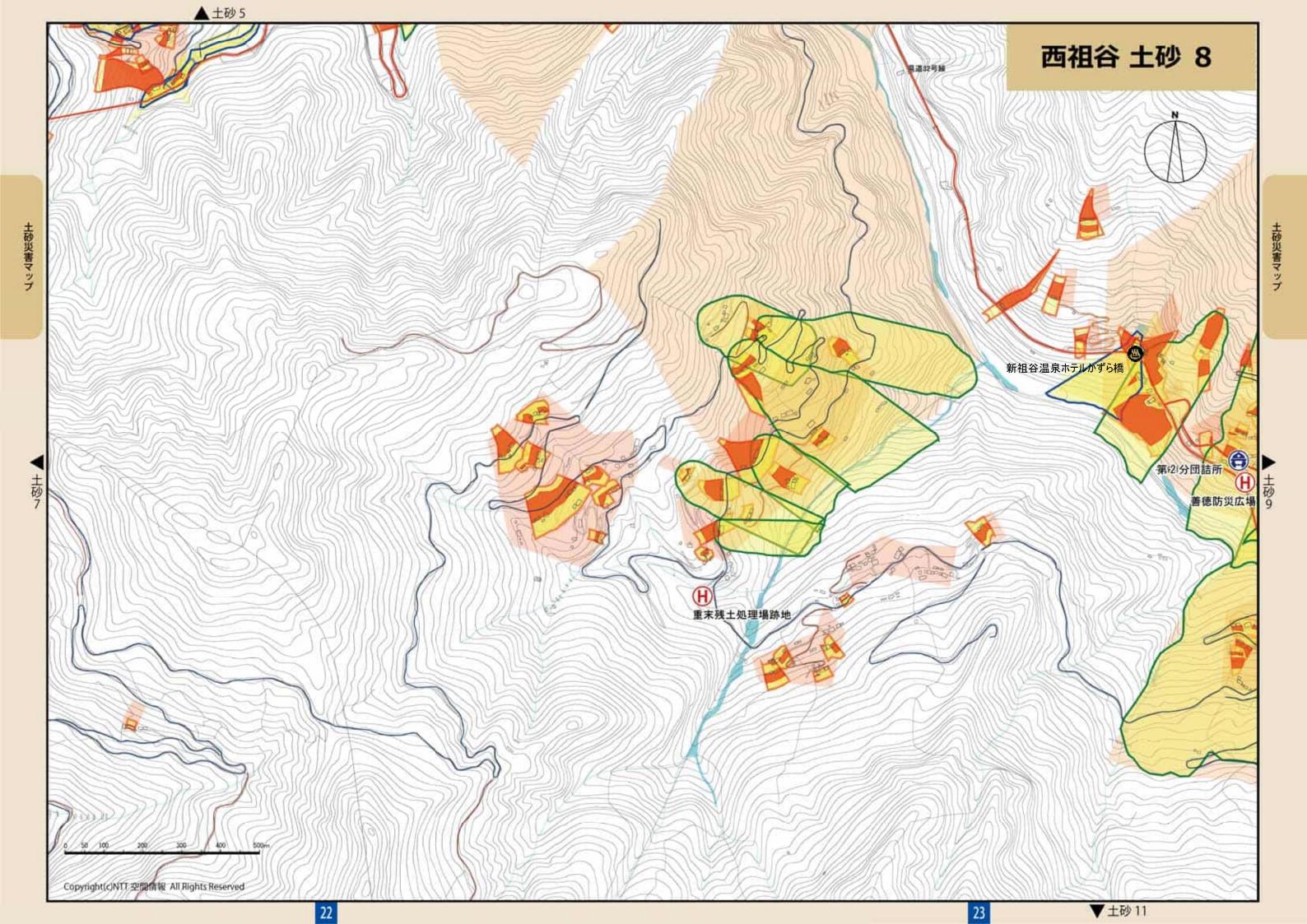


地震震度と液状化分布は防災ハザードマップ「地震災害」のページをご覧ください。

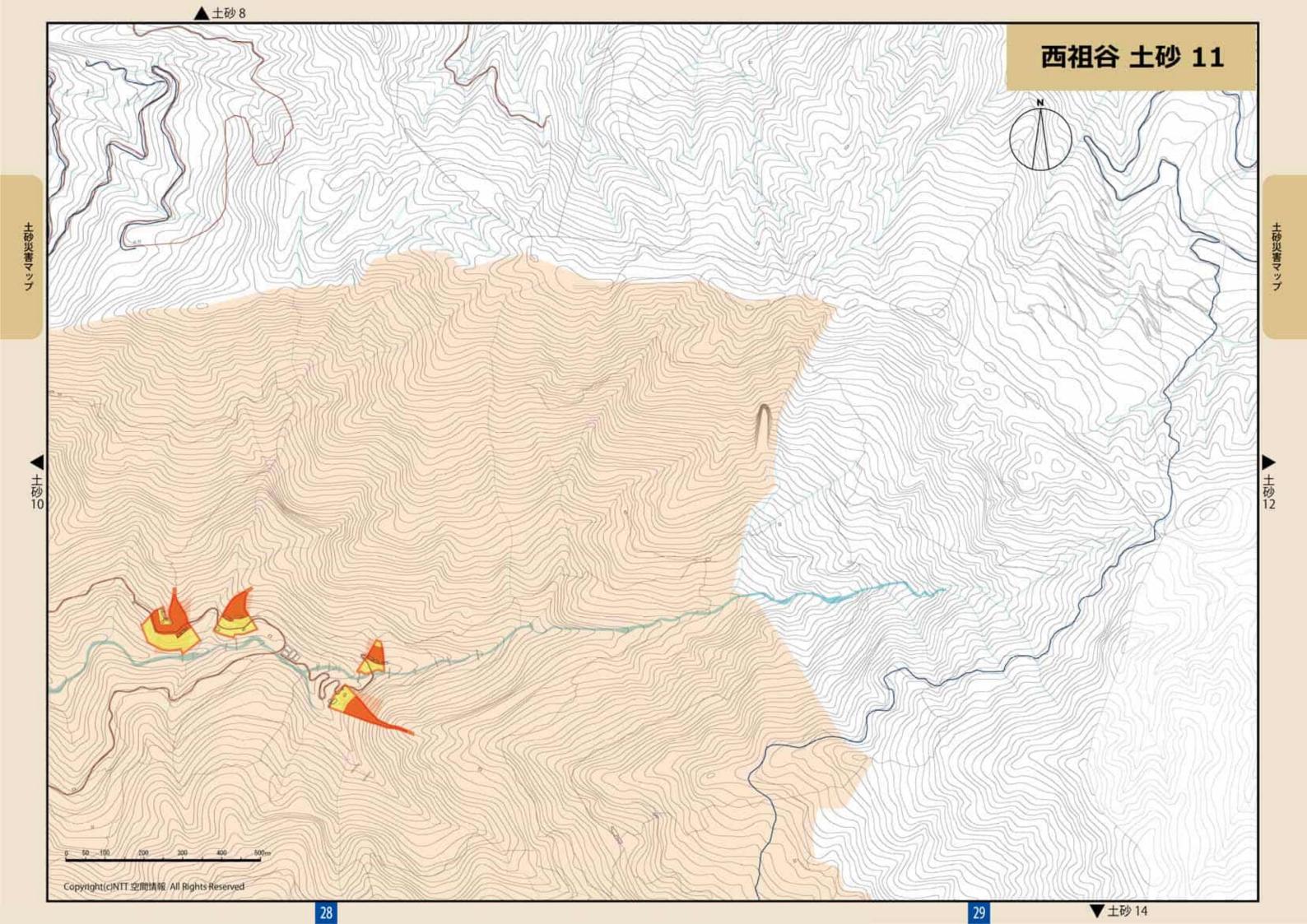


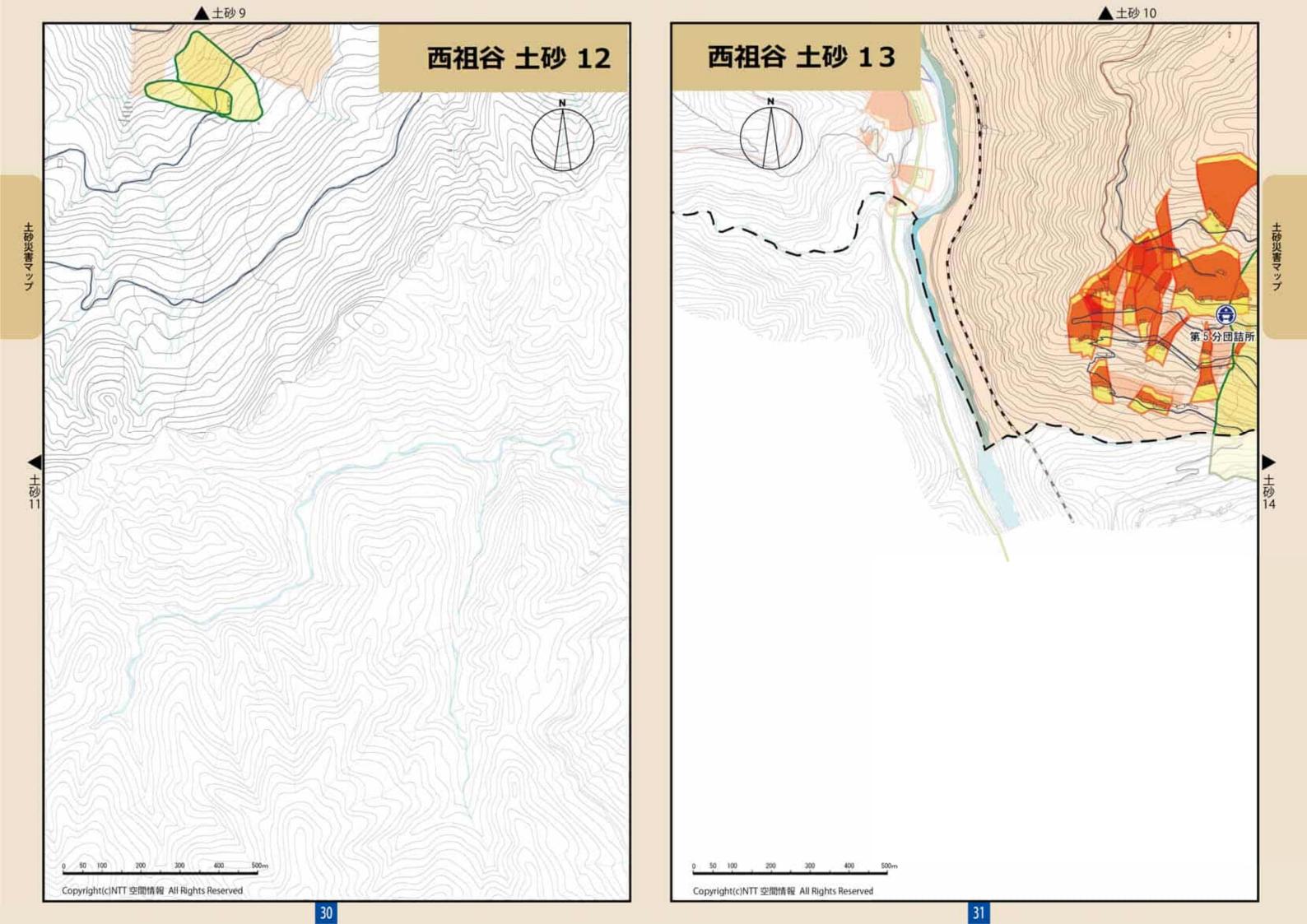
土砂災害マップ

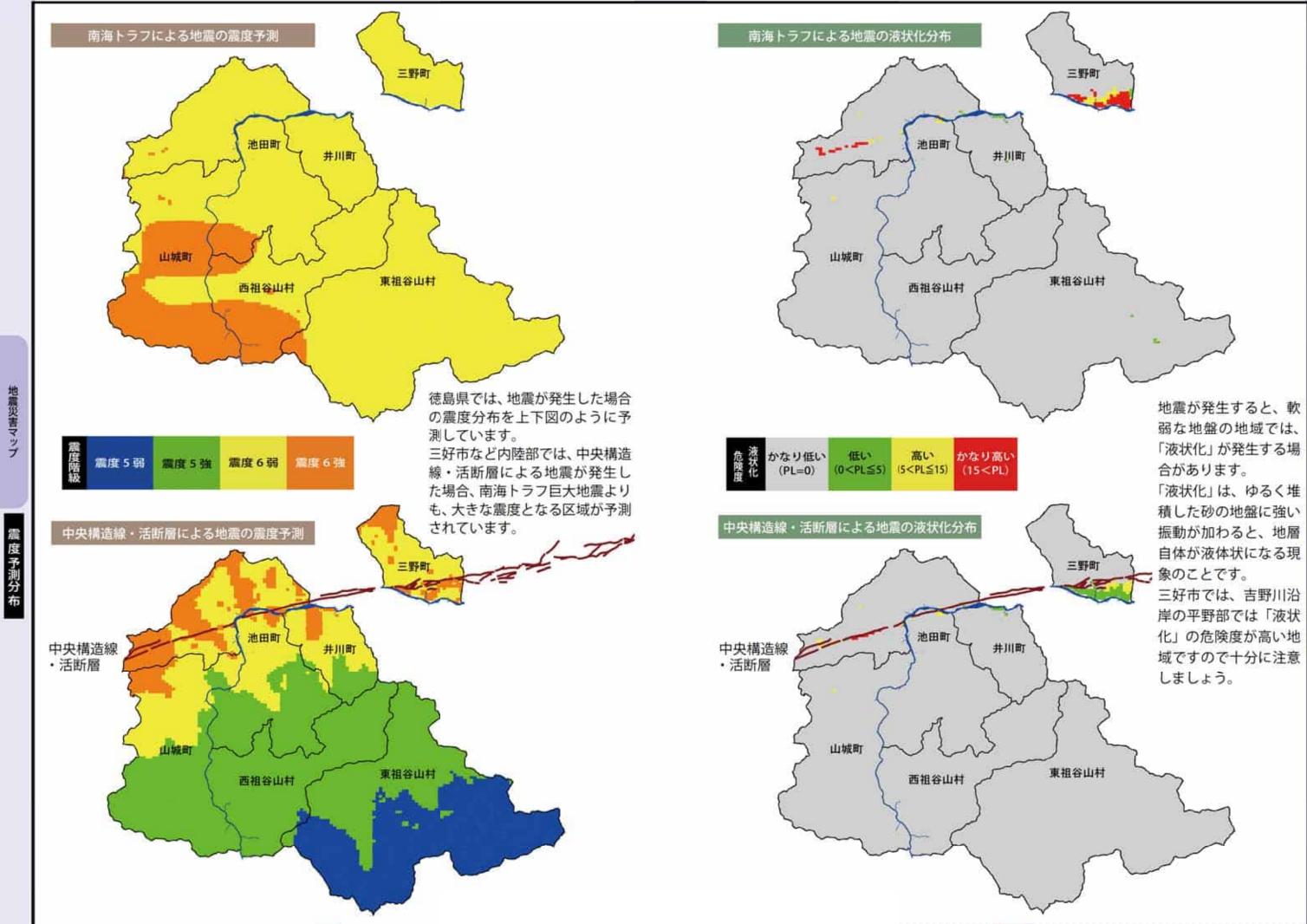




25









災害に備える 風水害・地震に備えて

風水害に備えて

毎年大きな災害をもたらす台風や大雨も、警報などの防災気象情報を利用することで、被害を 未然に防いだり、軽減することができます。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意し、台風 や大雨の危険が近づく前に、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の周りの備え

- ●大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。
- ●窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強しましょう。
- ●側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- ●風で飛ばされそうな物は飛ばないよう固定したり、家の中へ格納しましょう。



家の中の備え

- ●懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急医薬品、衣類、非常用食品、貴重品など非常用品の確認をしておきましょう。
- ●断水に備えて飲料水の確保や、浴槽に水 を張るなどして生活用水を確保しておき ましょう。
- ●日頃利用、活用しているものを少し多め に購入しておくという考えが「日常備蓄」 です。各家庭の生活環境に応じた品目や 量を自分たちで考えて備えておくことが 重要です。



避難場所の確認

- ●学校や公民館など、指定されている避難場所への避難経路を確認しておきましょう。
- ●災害の種類によっては避難場所が違う場合もあります。どの災害の時に、どの場所に避難するか事前に調べておきましょう。



家族同士の安否確認

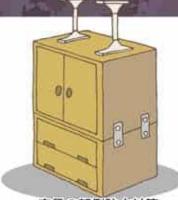
- ●普段から家族で避難場所や連絡方法など を話し合っておきましょう。
- ●災害伝言ダイヤルなどが使えるようにしておきましょう。



地震に備えて

地震はいつどこで発生するか分かりません。 地震が発生すると家具が倒れて、下敷きになったり、 ドアが開けなくなり避難できなくなる場合がありま す。地震が発生したときには「家具は必ず倒れるも の」と考えて、転倒防止対策をしておきましょう。





家具の転倒防止対策



扉金具や食器ストッパーの設置

孤立や停電に備えて

山あいの集落では、土砂災害や大雪などで道路が通行不能になると、孤立してしまう恐れがあります。 状況によっては、停電の復旧や救援に時間がかかる 場合も考えられます。

食料や水、医薬品などは約1週間分を備蓄しておきましょう。

冬場は電気を使わなくても使用できる暖房器具を 用意しておきましょう。



非常持ち出し品を用意しましょう

- ●リュックサック
- ●現金(小銭も)、健康保険証、預金通帳、身分証明書、印鑑 などの貴重品
- ●飲料水、非常食(レトルト食品、缶詰、乾パン)などの非常 用食品
- 携帯電話、充電器、携帯ラジオ、予備の電池などの情報収 集用品
- ●ヘルメット(防災ずきん)、懐中電灯、ホイッスルやブザー、万能ナイフ、使い捨てカイロ、マスクなどの便利品
- ●救急セットや常備薬、タオル、衣類、下着、ティッシュペ (*)
 ーパーなどの救急用具や生活用品



※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。

CHECK!

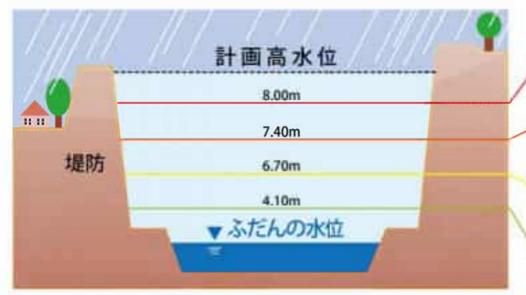


災害に備える災害情報の入手

河川の水位情報と判断基準

吉野川には、避難行動の目安となる河川水位の基準が設定されています。 川の水位と危険レベルの関係を理解し、洪水時の避難行動に役立てましょう。





はん濫危険水位

河川がはん茎の恐れの ある水位

避難判断水位

避難情報発表の目安と

はん濫注意水位

河川のは人里の発生を 注意する水位

水防団持機水位

水防団が持機する音をと なる水位

河川名	水位観測所	所在位置	水防田等機水位 通報水位	は人面注意水位 (管戒水位)	避難判断水位 (特別管戒水位)	は人置危険水位 (危険水位)
吉野川	池田(無堤)	右岸74.80km 磁線三所排削大字面排序值将7	4.10m	6.70m	7.40m	8.00m

MORNE RESERVE

https://suii.ezwords.net/id/2254900400004.html

災害情報の入手先

情報入手先	目的	ホームページアドレス		
気象庁 徳島地方気象台	台風や大雨などの気象情報 を知りたい時	http://www.jma-net.go.jp/tokushima/		
気象庁 土砂災養養或利定メッシュ情報	土砂災害の警戒情報等を知 りたい時	https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/		
建岛相岸土防泥 情况管理9次多公	通行規制状況、雨量状況、河川 水位状況などを知りたい時	http://www1.road.pref.tokushima.jp/index.html		
 川の防災情報	吉野川の水位等の情報を知 りたい時	http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do		
★ 水資源機構	池田ダムの流入量や放流量 を知りたい時	http://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/		
3 三好市	市内避難所等の情報を短り たい時	https://www.miyoshi.i-tokushima.jp		



災害から身を守るいつ・どこへ避難するの?

いつ避難するの?



大雨による洪水や土砂災害など、災害の発生がさしせま り避難が必要になった場合には、三好市役所より。 (A)

油」、「避罪勧告」、「避難指示(緊急)」

が発令されます。

これらの問知は、テレビやラジオ、緊急速報メール、防災 無線や音声告知放送のほか、消防団・警察・自治会・自 主防災組織等による声掛けなどにより行われています。



避難準備· 高齢者等避難開始

お年春りの方、体の不自由な方、小さな子 供がいらっしゃる方など避難に時間がかか る方とその避難を支援する方は、避難を開 始してください。

急激に水位が上昇する恐れのある河川付 近や山腹崩壊の危険性が高い場所にお住 いの方などは避難を開始してください。

それ以外の方については、気象情報に注意し、非常用持ち出し品を用意し家族や近 所の人と連絡を取るなどの準備をしましょう。 危険だと思ったら早めに避難してください。

避難勧告

連やかに避難を開始してください。 外が危険な場合は、屋内の高いと ころに避難してください。

外出することでかえって命に危険 が及ぶような状況では、近くの安 全な場所への避難や、自宅内のよ リ安全な場所へ避難をしましょう。

避難指示(緊急)

監急に(直ちに) 誹難してください。
外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

外出することでかえって命に危機 が及ぶような状況では、近くの安 全な場所への避難や、自宅内のよ リ安全な場所へ避難をしましょう。

どこへ避難するの?

(11)

災害が発生し、立選き避難が必要な場合には、その災害に対応した最寄りの「指定緊急避難場所」か「指定 避難所」へ避難しましょう。

「指定緊急避難場所・指定避難所」には、「土砂災害」、「水害」、「地震」など、それぞれの災害に対応できる施設とできない施設があります。どの災害の時に、どこへ避難するか、あらかじめ「避難場所等一覧表」などで確認して 動きましょう。

既に周辺で災害が発生している場合など、立退き避難がかえって命に危険を及ぼすかもしれない場合は、地域 のみなさんで定めた「避難場所」や「近隣の安全な場所・建物等」へ避難してください。



指定緊急避難場所

(条件付き)



指定避難所



#(条件付き)



広域避難所



(条件付き)



一時避難場所

大雨、洪水等による危険が切 迫した状況において、住民等 が緊急に避難する際の避難 先として位置付けるもので あり、住民等の生命の安全の 確保を目的とするものです。 災害の危険性があり、避難し た住民等を災害の危険性が なくなるまで必要な期間滞 在させ、または災害により家 に戻れなくなった住民等を 一時的に滞在させることを 目的とした施設です。

地震等により家に使れなく なった住民等を広域的に、一 時または長期にわたり(応急 仮設住宅等が整備されるま での間など)、避難生活でき る単内避難所です。 地震による余震がおさまる までの間など、危険が切迫し た状況が落ち着くまでの間、 一時的に避難することがで きる屋外の広場などです。

※○の施設はすべての災害に対応しています。○の施設は条件付きでの避難に対応しています。① 階以上に避難又は至ろう諸物等》



災害から身を守る 避難する時の注意点

災害別避難の心得と行動

災害種別	避難の心得	避難行動	
	早めに避難する。	堤防が決壊した時は、一気に水位が上がります。氾濫した 水が集まる低地などの地域では、早めに避難しましょう。 また、夜間に大雨が予想されているときは、明るいうちに 避難しておきましょう。	
洪水災害	川や水路の様子を見に行かない。	川や水路の様子を見に行って被災することがよくあります。様子を見に行かず、テレビやラジオ、インターネット等で情報を把握してください。	
	冠水しているときには足元に注意 する。	避難する際は、河川から離れた高い道路を通りましょう。 配水している道を通っての避難はやめましょう。足元が どうなっているかよく見えません。	
	避難所に行くことができなければ、 建物の高いところへ移動する。	避難所へ行くことが困難な場合は、建物の2階以上の高 いところに移動しましょう。	
	土砂災害が発生しそうな区域から 早めに避難する。	土砂災害の前兆に気づいたり、不安を感じたら、避難動 告などがでていなくても、土砂災害警戒区域や土砂災害 危険箇所の区域から、早めに外にでましょう。	
	土砂の流れる方向に直角に避難 する。	土石流については、土砂の流れる方向に対して直角に、 できるだけ高いところに避難しましょう。	
土砂災害	避難所に行くことができなければ、 建物の高い度と反対例へ移動する	屋外への避難が困難な場合は、建物の崖側とは反対側の 2階以上の部屋へ移動しましょう。	
	避難勧告・避難指示や大雨警報が 解除されるまで戻らない。	土砂災害は雨が上がっても発生する可能性があります。 避難勧告などが解除され、安全が確保されるまでは、自 分で判断せず、家には戻らないようにしましょう。	
地震災害	まず自分の身を守る行動をとる。	大きな地震が発生したら、大きな家具やガラス窓から離れ、テーブルなどの下に身を隠してください。 揺れが治生ってからガスの元栓を閉め、電気ブレーカー を落としてから剥削をしましょう	
心底火杏	古い建物や幅の狭い道を避けて避 難する。	余震などで建物や壁が倒れてくる場合もあります。 危険 なところは避けて安全に避難を行いましょう。 また、安全が確認されるまでは、家の中に入らないよう にしましょう。	

出典:『トクする!指突 避難の心障』 (一社)日本気取協会

● もし、避難出来なかったら!

万が一、避難できなかった場合には、 少しでも命が助かる可能性の高い避 難行動として、洪水災害の場合、2階 以上の高いところに移動したり、土 砂災害の場合は、土砂側から離れた 部屋に移動するなど「屋内安全確保」 を行ってください。



洪水災害の場合

土砂災害の場合



災害から身を守る 避難生活の心得



1.ルールやマナーを守り、助け合いながら生活しましょう 2.要配慮者(ご高齢の方等)への心配りも必要です。

避難所で生活する場合

避難所は、市と自治会や自主防災組織が協力をして 運営します。避難所の運営に携わっている人も被災 者ですので皆さんのご協力をお願いします。

- ●避難所では、居住スペースの移動を定期的に行います。(最初に座った場所に、ずっと居られる訳ではありません。)
- ●食料物資などは、原則として、全員に公平に提供できるようになってから配付します。
- ●立入禁止・使用禁止などの指示には、必ず従ってください。
- ●ベットを避難所内の居住スペースに入れることは禁止します。他の避難者に迷惑がかからないように飼育してください。
- ●トイレの清掃は、避難者が交代で行いますので、ご協力ください。
- ⇒決められた場所以外での、飲酒・喫煙は禁止します。
- ゴミは分別して、指定した箇所に出してください。
- 各種伝達事項は、避難所内の掲示板にはり出します。



自宅等で生活する場合

自宅で居住の継続かできる状況であれば、在宅 避難をしましょう。避難所では、環境の変化な どによって体調を崩す人もいます。事前に住宅 の耐震化を行い、食料や水など必要な物を日 頃から備え、可能なかぎり在宅避難できる準備 を整えておくことが大切です。

●ガス・電気・水道の代替

ライフラインの代替品を備えておくと安心。ガスは カセットコンロ、電灯 は乾竜池で作動するヘッドラ ンプを 利用します。水は日頃からベットボトルなど の水を多めに準備し、近所 の「給水拠点」の確認を しておきましょう。

食料品や日用品の備え

日頃から食料や日用品 を多めに買い揃え、普段生活 する中で消費していく日常備蓄なら、無理なく備蓄 を続けることができます。



●トイレの使用方法

水道が使用できない場合には、備蓄している携帯用 (非常用)トイレや行政が用意したトイレを利用し ます。

要配慮者を思いやろう

何らかの手助けを必要としている方がいます。 地域で協力して支援し、被害が大きくならないようにしましょう。

何が困っているのか?

- 情報を理解することが困難
- 危険を察知することが困難
- 避難等の適切な行動がとり にくい
- 重思表示や重思疎通が難しい

支援のボイント

- 簡単で分かりやすい言葉を使う
- 大きな声でゆっくりはっきりと
- 書いて伝える
- やさしい日本語を使う
- 不安な気持ちを取り除き、安心させる
- 移動支援は安全に行う
 - (一人で難しい場合は助けを求める)





知っておこう! 緊急連絡先と伝言ダイヤル

緊急連絡先

施設名	住 所	連絡先		
三好市役所 危機管理課	三好市池田町シンマチ 1500 番地 2	TEL 0883-72-7625 FAX 0883-72-7203		
三野支所	三好市三野町芝生 1039 番地	TEL 0883-77-2311		
山城支所	三好市山城町大川持 518 番地 9	TEL 0883-86-1111		
井川支所	三好市井川町辻 73 番地	TEL 0883-78-5001		
東祖谷支所	三好市東祖谷京上 157 番地 2	TEL 0883-88-2211		
西祖谷支所	三好市西祖谷山村一字 343 番地 2	TEL 0883-87-2211		
警察		110		
消防・救急	119			

災害用伝言ダイヤル「171」と災害用伝言板

地震などの災害が起こると、固定電話や携帯電話などの使用が一気に集中してつながらない状 態が続くことがあります。このような場合は、災害用伝言ダイヤル「171」と、災害用伝言板サー ビスが開設されます。これらのサービスは、大規模な災害が発生した場合、録音・再生型の「声 の伝言板」と、文字で伝えあう「伝言板」の役割をする電話サービスです。



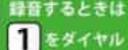
音声 を残す



をダイヤルする



| 台声案内が流れます |





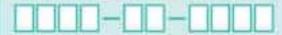
→ 」音声案内が流れます →



補災地の方は自分の電話番号を

推災地以外の方は被災者の電話番号を

市外局番からダイヤルしてください



伝言を吹き込みます(30秒以内)

●10件まで保存可能 ●保存期間は48時間

災害用伝書板

非常時に、携帯電話各社のトップページ より利用することが可能です。

信書の登録

- トップ画面の「災害用伝言板」を選ぶ。
- 「災害用伝言板」の画面が現れたら、
- 「登録」を選ぶ。
- メッセージしたい項目を選ぶ。(コメントも書き込めます)
- 日 その画面でも「登録」を選ぶ。
- 6 伝言の登録が完了

伝言の確認

- ■トップ画面の「災害用伝含板」を選ぶ。
- 「災害用伝言権」の画面が現れたら、
- 「確認」を選ぶ、
- 相手のケータイ電話番号を入力。
- その画面でも「様素」を選ぶ。
- 日常の検索結果が表示

災害用伝言板(web171)

パソコンやスマートフォン等から固 定電話や携帯電話・PHSの電話番号 を入力して安否情報(伝言)の登録、確 認を行うことができます。

URL:https://www.web171.jp #





見ておこう! 避難場所等一覧

	指定緊急避難場	所・指定避難所・広域遊	推析		∆i#2	程以上に避	難または壁弓	う建物等
Marin (Marin Aven		Tana mara	避難場所等			用網區分		
番号	施設名 所在地		布定緊急 遊難場所	指定 可製所	広城 避難所	地震 災害	洪水	土砂 災害
4	西祖谷支所(庁舎・保健センター)	西祖谷山村一字 343-2	0	0		×	0	0
2	標生小学校体育館	西福谷山村一字 262-1	0	0.	0	0	.0	0
3	三好市西班谷老人福祉センター	西祖谷山村一宇 343-4	0			0	0	0
4	善徳地域多目的施設体育館 (旧善徳小学校校舎・体育館)	西祖谷山村善徳 362	0			0	0	Δ
5	今久保活性化センター (かずら横イベント広場)	西湖谷山村今久保 345-1	0			0:	0	۵
6	西祖古中学校体育館	西祖谷山村東西岡 10	0	0	0	0	0	Δ
7	西祖谷多目的広場管理機	西祖公山村東西南8-1	0			0	0	Δ
ä	吾樣多目的集会所	西祖谷山村下去橋 15-4	0	0		0	0	0
9	百橋小学校校舎・体育庭	西祖谷山村下西橋 303-2	0			0	0	Δ
10	有單分館·有單地域多目的施設体育館 (旧有漏小学校校告·体育館)	西相谷山村有瀬 414	ю	0		0	0	Δ
11	西根谷湾防团第6分团结所	西祖谷山村小祖谷 37-1	0			×	0	Δ

12	一時避難場所						
01	MARK	(E. 10)	へり出プター時度連続				
1	様生小学校グラウンド	西祖谷山村一学 262-1					
3	善徳地域多目的施設グラウンド (旧善徳小学校グラウンド)	西租货山村養徳 362					
3	西祖四中学校グラウンド	西祖谷山村東西向 10	0				
4	吾橋小学校グラウンド	西福谷山村下晋橋 303-2					
5	西祖谷一宇運動公園(旧西祖谷中学校グラウンド)	西祖谷山村一字 251	0				
6	かすら様イベント広場	西祖号山村今久保345-1	o				
7	西祖谷多目的広場(ゲートボール場)	西祖谷山村東西南 8					

土砂災害 避難所等 土砂災害警戒区域(急傾斜) 指定緊急避難場所 土砂災害警戒区域(地すべり) 指定緊急避難場所(条件付き) 土砂災害警戒区域(土石流) 指定避難所 土砂災害特別警戒区域(急傾斜) 指定避難所(条件付き) 土砂災害特別警戒区域(土石流) 広域起難所 急傾斜地崩壞危険箇所 広城避難所(条件付き) 土石流危険区域 一時避難場所 地すべり危険箇所 市役所 道路 支所 高速道路 消防署 国道 调防团 主要地方道・県道 + 病院 市道 (2) 警察・駐在所 農道 林道 (H) ヘリポート アンダーバス(冠水時危険箇所)

※避難場所等の(条件付き)は2階以上 に避難または堅ろう建物等を示す。